LED ペンダント器具

LEDユニットについて

- この器具のLEDユニットの交換はできません。あらかじめご了承ください。
- ・無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。 火災・発熱・器具破損の原因になります。
- ・この器具のLEDユニットの寿命は、30℃以下の環境・1日10時間点灯で約40.000時間です。
- LEDの明るさ、光色には個体差があります。あらかじめご了承ください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告



感電のおそれがあります

◇器具の交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談へ





感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。

◇器具のすきまに異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。



火災のおそれがあります

◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。

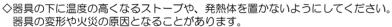


注意

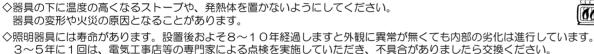
◇器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。 器具落下によるけがの原因となることがあります。



- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に清掃、点検してください。 器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、着脱がないかお調べください。
- ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電・火災の原因となりうことがあります。 絶対になさらないでください。



(使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。)



保守とお手入れ

⚠ 注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

お願い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。 変色・破損の原因となります。 汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、 乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。



◇ぬれた手で器具に触らないでください。

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書い てある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事 店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせ は、「部品名称」のイラストをご参照ください

お客様相談窓口



受付時間(土日祝を除く) 10:00~17:00

●土日祝·長期休暇·YAMAG I WA名古屋、 YAMAG I WA大阪の定休日(一部地域のみ) を除きます。

おかけ間違いのないようお願いいたします。

通話料はお客様の負担となります PHSからは接続できません

お問い合わせサイト

http://www.yamagiwa.co.ip/contact

取扱説明書 MAYUHANA GIANT

designed by Toyo Ito



このたびは、YAMAGIWA の照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。 **Vamaqiwa** この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。 お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されて

日

1ページ: 照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意

2ページ: 定格表と専用電源装置の取付方法

3ページ: 灯具本体の取付方法

4ページ: LED ユニットについて・照明器具ご使用についての安全上のご注意 保守とお手入れ・アフターサービス

照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意

♪ 警告

火災のおそれがあります

◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります



- ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
- ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。

感電のおそれがあります

- ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
- ◇器具の取付けの際には、必ず電源を切ってください。
- ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。





落下によるけがのおそれがあります

◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取付けないでください。

⚠ 注意

- ◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧(**定格±6%**)以外で、使用しないでください。
- 定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと火災の原因になります。
- ◇取り付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。 器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇この器具は専用調光器にて調光が可能です。専用調光器以外には接続しないでください。 火災の原因となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水分の多い場所では使用できません。 屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具取付の際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。 メッキや塗装等の変色や、さびの原因になります。
- ◇アース工事が必要となる器具ですので、電気設備技術基準及び内線規定に従ってアース工事を行ってください。 **感電・火災の原因**となります。尚、100Vでご使用の場合はアース工事は必要ありません。
- ◆周囲環境温度は**0℃~35℃の間、温度85%以下**でご使用ください。

お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

定格表

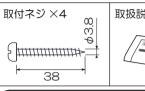
■器具本体

| カタログ番号 | 型番 | 色温度 演色性 | 消費電力 (Z6192使用時) | 器具寸法 | 質量 |
|----------|--------------|---------------------|-----------------------|--------------|-------|
| 321F-204 | 0AFC-10K0-10 | 3000K (LED) Ra85 | AC100/200V 50W/49W | φ1100 × 5000 | 6.0Kg |

■専用電源装置

| 切込寸法 | カタログ番号 | 調光レベル | 電源電圧 周波数 | 入力電流 (100V/200V) | 2次電圧 2次電流 | 器具寸法 (全長×幅×高さ) | 質量 |
|------|---------------|--------------------|-----------------------|---------------------|--------------|-------------------|-------|
| 1000 | Z6192 (別売) | PWM 制御方式 5~100% | AC100/200V 50/60Hz | 0.50/0.255A | 61.0V/0.70A | 266×63×46 | 0.4Kg |

■同梱付属品



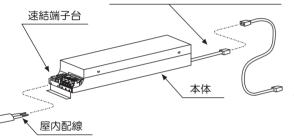
取扱説明書(この説明書)

【調光してご使用する場合】 調光機等の制御装置が必要となります。 調光方式は、PWM 信号制御方式です。 カタログ番号 Z1221 (5m)

■別途オプション

専用電源装置の取付方法

延長ケーブルもしくは、器具側口出 し線とコネクタを接続してください。 ※モデルは Z6192 (PWM 制御方式)



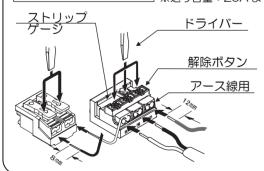
(図は器具を省略、抽象化したものです)

(図1)

■矢印の方向に止まるまでぐっと差し込んだ後、 引っ張ってみて抜けないことを確認してくだ さい。外すときは解除ボタンをドライバー 等で押し込んでください。

調光用適合信号線 CPEV Ø0.9mm×1ペア φ1.2mm×1ペア

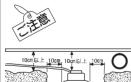
電源用適合電線 φ1.6 φ2.0 単線 ※送り容量: 20A まで



必ず電源が切ってあることを確認してから、作業を開始してください。 ⚠ 注意

- .取付前の確認をする 取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。不備がありますと**器具落下の原因**となります。 また、取り付け工事を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。不備がありますと、**感電・不点灯・器具破**
- . 専用電源装置を設置する 本体の取付用穴を用いて水平方向にて確実に設置します。不備が ありますと、**器具落下の原因**となります。
- 3. 屋内配線及びアース線を端子台に接続する(図1) 屋内配線及びアース線の被覆を端子台上のストリップゲージに従ってむいて、端子台の差込穴に確実に差し込みます。
- 4. 器具本体側からのケーブルを、専用電源からのコードと接続しま す。(コネクター接続)
- ●電源配線は600Vビニル絶縁電線と同等以上の性能を持つ電線を使用様し、ゆるみ・抜けのないように接続し、確実に絶縁してください。
- ●電源装置を2台以上並べて設置する場合は、ケースの幅以上離し て通風に注意してください。
- ●電源装置には寿命があります。

お願い: 電気工事様へ・・・工事が終わりましたら、この 取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

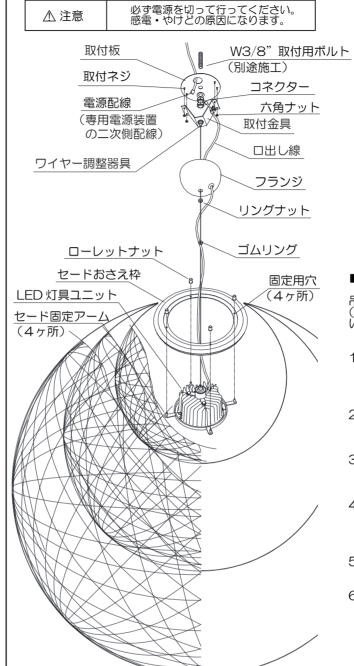


- ◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。法律で禁止されています。
- ◇断熱材で覆わないでください。火災の原 因になります。
- ◇住宅以外の建物に使用するときは左図の 取付寸法を守って行ってください。 √断熱·防音材

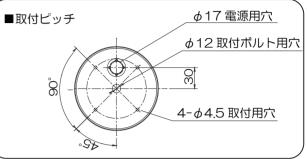
企注意

- ◇電気工事は電気工事店に(有資格者)にお任せください。一般のかたの工事は**法律で禁じ**られています。 ◇施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると落下・**感電・火災の原因**になります。 ◇アース工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって行ってください。不備がありますと**感電・火災の原因**と
- なります。
- なります。
 ◇断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
 ◇器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
 ◇表示された電源電圧(定格電圧 ±6%)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
 ◇器具本体と専用電源装置の距離は、灯具から最大 10m までとしてください。

灯具本体の取付方法



■取付方法 콄 ボゴル 天井面



■取付方法

吊り下げ位置に W3/8"取付用ボルト(別途施工)を上記図(取付方法)のように天井面より 25mm の位置に施工しておいてください。

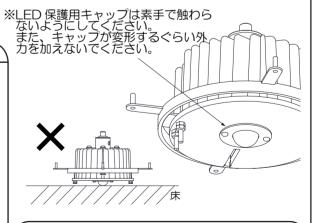
- 取付板をW3/8"取付用ボルトを通し、平ワッシャー (非同梱)・六角ナット(2ヶ所・非同梱)で締め付け 固定してください。 ※必ずダブルナットを施してください。
- [ボルト非使用の場合] 取付板を付属の取付ネジ(4本)で補強材のある位置に 確実に取り付けてください。
- 2次側線と電源配線または専用電源装置の2次側配線を結合してください。専用電源装置の取扱については、2ページ"専用電源装置の取付方法"を参照してください。
- 取付金具を取付板にセットし、六角ナット(4ヶ所)で締め付け固定してください。 ※必ずダブルナットを施してください。
- フランジを取付板にかぶせ,リングナットで締めつけ固定してください。
- セードおさえ枠の中に灯具ユニットを入れ、セード固定 アームから 出ているネジを枠の固定穴に通し、ローレットナット(4 ケ所)で確実に固定してください。

器具の高さ調整方法

ワイヤー調整具で高さの調整を行います。 その際、ワイヤーを折り曲げないでください。 ※ストッパーを押し上げている間ワイヤーはロックされていませんので、器具の重さで一気に下がってしまいます。吊り長さを調整する時は必ず器具本体を支えながら調整してください。

●ワイヤーを短くする場合
・図1のようにワイヤー調整具に①ワイヤーを上に押し上げてください。余分なコードはフランジ内に押し入れてください。(図3 ①参照)
●ワイヤーを長く調整する場合
・器具を支えながら(図2)のようにワイヤー調整具の①ストッパーを押し上げている間②ワイヤーを下に引っ張って調整してください。コード下にゆっくりひっぱて調整してください。コードはフランジからゆっくり引っ張ってください。無理に引っ張りますとコードを痛めますのでご注意ください。
※高さの位置調整の後、ゴムリングの位置調整も行ってください。

フランジ (図2) (図3) , 、スト<u>ッパー</u> ① **↑**_ 1) 🛊 ワイヤー ワイヤー ② ↓ ② ↓



セード取り外し時のご注意

セードを梱包の木枠から出すときは、セードを包んでいる袋でと両手を使って抱えるようにして静かに木枠から引き出してください。このようにをつた時は、いかでしまう場合があります。このようにでもとに戻いたでしまった周辺部を軽くたたくことでも強い力ではます。ただし、繊維が折れてしまうような強い力で押した場合は元に戻せませんのでご注意ください。

凹んだセードの直し方

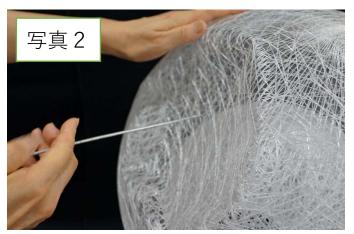
MAYUHANAのセードは非常に繊細な風合いを出す樹脂とグラスファイバーで出来ています。外側からの圧力に非常に弱く 凹みが出来てしまう可能性があります。 しかし鍵状のワイヤーを用いて凹みを元に戻すことが出来ます。 (写真②~③)



用意するモノ ①鍵状の針金或いはピンセット ②ドライヤー



写真3の状態から軽く引っ張る。



凹んだ中央部を針金或いはピンセットでつまむ。



凹んだ状態が長く続いた場合、凹みが元に戻らない場合が 有ります。この時は短い時間、セードから離し、凹んだ部分に ドライヤーを吹き付けると元にもどすことが出来ます。

※注意 長い時間ドライヤーを吹き付けると変色・変形の恐れがあります。